

実りの秋、そして収穫の秋。そらいろのふるさとでは、田んぼの稲刈りが始まりました。遠く吾妻連邦、安達太良連峰の峰々も初秋の澄んだ空気にくっきりとシルエットをみせています。まもなく紅葉、やがて白い季節となります。



# そらいろのケアを紹介してきました

## りょうぜん里山がっこうと東京地域ケア研究会



りょうぜん里山がっこうのさすけねえサロンで話しをしてきました



東京地域ケア研究会の例会に講師として参加してきました



利用者たちの輪に加わり、お話しをするメンバーの方々

さすけねえサロンで講演したのがきっかけとなり、話を聞いてくださった方々がそらいろデイにやってきました。一行は築110年の古民家を改修したフロアや前手すりのついたトイレ、ヒノキの自立式浴槽など生活リハビリのための設備を見学したあと、風船バレーゲームに参加。利用者たちよりも本気になって風船を追いかけていました。最後はオカリナの伴奏で懐かしい唄をみんなで歌ってお開きとなりました。

講演がきっかけとなり、りょうぜん里山がっこうのメンバーたちが見学に

8月にNPO法人りょうぜん里山がっこうが主催する健康長寿のための「さすけねえサロン」で、また、9月には、東京地域ケア研究会の例会で「当たり前暮らしを当たり前にするを支える」と題して、そらいろデイでの日頃の取り組みについてお話ししてきました。

いずれの会にも、20名から30名の方が参加され、生活行為を通して高齢者の元気を引き出す「生活リハビリ」の考え方や、「お世話と介護の違い」、認知症という官製新語ができる前と後の呆けのとらえ方の違い、肉体の健康だけではなく、人や地域との関係づくりが長寿であるための大切な要素となることなど、日々の利用者とのエピソードを通してお話ししました。

参加された方々は、笑いあり、涙あり、ハラハラドキドキの介護現場の話に熱心に耳を傾けてくださいました。

暮らしの中にある介護  
笑いあり、涙あり、冷や汗ありのエピソードで解説

## 利用者と一緒に風船バレー そらいろのケアを体験



オカリナの伴奏で懐かしい唄を歌いました